

くまの国と一緒には巡ってみよう！

里見忠義公 ゆかりの地めぐりMAP

里見忠義公は、里見家の再興を願いながら、神社・寺院の再建と保護に力を注ぎました。また29歳で亡くなるまでの8年間、居所を3カ所に構えました。悲運の君主と八賢士の軌跡をめぐってみませんか。

かんざかむら 神坂村屋敷跡 (東町)

わずかな近臣とともに倉吉に着いた忠義は、まずこの地に屋敷を構えた。約3年をここで過ごした後、下田中村、堀村へと移る。



◀ 里見屋敷跡の案内看板

大岳院・里見家墓所 (東町)



曹洞宗の名刹。倉吉に配流となった忠義が、しばしば通ったという。忠義の死後、遺言によりその遺骨は大岳院に埋葬された。その後殉死した8人の家臣の遺骨も、ともに眠っている。

◀ 忠義と八賢士の墓

北条八幡宮 (北栄町北尾)

忠義が、源氏の守護神である八幡神をまつる社殿を修復することで、自身の武運長久を祈ったとされる。主な宝物として、忠義が社殿を修造した際の「里見忠義安房守忠義寄進棟札」があり、北栄町の保護文化財に指定されている。



▲ 本殿上部の彫刻

やまおさ 山長神社 (森)



忠義が社殿を修復したといわれる。北谷地区の総氏神として大切にされている。



里見安房守忠義主従之廟 (関金町堀)



忠義と8人の家臣をまつる廟。山郷神社の西、「里見屋敷のシイ」(倉吉市保存樹)の根元に立つ。このシイの木は、切れば祟るといふ伝承があり、悲運の主従の怨念がとどまっているという言い伝えがある。

やまさと 山郷神社 (関金町堀)



忠義は、この周辺に最後の居を構えた。周辺には「安房守様」と呼ばれるほこらや五輪塔群が数カ所ある。

北野神社 (北野)



戦乱などで衰退していた神社を、忠義が再建した。

かちすくね 勝宿祢神社 (下田中町)



忠義が建てたといわれる稲荷社がある。また、下田中での忠義の住居は、この神社付近であるといわれており、隣接の民家には「里見井戸跡」もある。



▲ 荒神社に彫られた龍

